

商务师业务外语：付 - 原朔太郎 PDF转换可能丢失图片或格式，建议阅读原文

[https://www.100test.com/kao\\_ti2020/207/2021\\_2022\\_\\_E5\\_95\\_86\\_E5\\_8A\\_A1\\_E5\\_B8\\_88\\_E4\\_c29\\_207256.htm](https://www.100test.com/kao_ti2020/207/2021_2022__E5_95_86_E5_8A_A1_E5_B8_88_E4_c29_207256.htm)

公の梅の木の下に、青いが落ちてている。先刻の小糠（こぬか）雨での皮にできた滴が、5月の京の空を映す。やがてから日が差し、木々の若が光り始めた。公園的梅树下散落着青色的果实。先前的蒙蒙细雨淋在这些果实的表面上，一滴滴的水珠映着5月东京的天空。不久日光从云隙间射下来，树丛中嫩叶反射出耀眼的光。「若草の上をあるいてゐるとき、／わたしの靴は白い足あとをのこしてゆく……ああすつぱりといつさいの愁をなげだして」。原朔太郎は、この季をした。「若くさの上をあるいてゐるとき、／わたしは五月の公子である」（『月に吠える』）。“走在嫩草上，我的鞋留下白色的足迹……果断地将一切忧愁丢开”。原朔太郎喜爱这个季节：“走在嫩草上，我是五月的贵公子。”20代のに妹に送った手には、新は、夏の盛りのどすいような不快な青とはうといた。「るからに晴々した透き通るな青です」。朔太郎は、昭和17年、1942年の5月11日に55で他界した。在他20岁左右时寄给妹妹的信中说，新绿不同于盛夏那乌黑令人不快的绿。“一看就是心情愉快的像是透明的一样的绿。”朔太郎于昭和17年，1942年5月11日离世，享年55岁。「四季」の追悼号には、高村光太郎や藤茂吉、室生犀星らの文がんでいる。中に、「よ原朔太郎」とする三好治のがあって、年この期になるとみ返す。诗的杂志《四季》的追悼号中登载了高村光太郎、斋藤茂吉、室生犀星等人的

文章。其中有篇三好达治的名为《恩师原朔太郎》的诗，每年的这个时候笔者都要拿出来读。人としてはめられていたが、世の常とは大きな隔たりを痛感しつつ生きた朔太郎に、まず「幽愁の」と呼びかける。「あなたのあのかしい人格は / なま温かい熔岩（ラヴァ）のやうな / 不思議な音そのままの不朽の凝晶体」だったとうたう。作为诗人他得到了肯定，但是一直深感与社会格格不入的朔太郎被称作“忧愁的集合”。“你那怀旧的人格就像流动的熔岩，是奇妙的音乐的不朽的结晶。”诗里是这样写他的。「病者（ソムナンビユル） / 零（ゼロ）の零（ゼロ）」とき、「あなたばかりが人生をただそのままにまつ直ぐに混ぜものなしに歌ひ上げる」とした。かに朔太郎の句は、の源泉からわき出る、混じりけのない流れだったかも知れない。逝って64年。自らを公子と呼んだこの季には、若草の上をゆく姿が、の中によみがえるようながする。“梦游病人，零之零。”“只有你将人生原样地直接不含杂质地咏了出来。”的确，朔太郎的诗句也许真是源自那诗之泉的不含杂质的泉水。过逝64年，在这他自称贵公子的季节里，仿佛在暖风中嫩草上又看到了他漫步的身姿 100Test 下载频道开通，各类考试题目直接下载。详细请访问 [www.100test.com](http://www.100test.com)